

当面の人文学・社会科学特別委員会の進め方について(イメージ)

【1】課題(「人文学・社会科学研究の振興に向けた当面の施策の方向性について」(R5. 8. 30)より)

1. 共創による課題設定型・プロジェクト型共同研究の更なる推進方策の検討

- 研究マネジメントの仕組みやマネジメント人材の育成・確保を含めた組織支援体制
- 研究者の育成やマッチング、研究者間の相互理解の仕組み
- 共創型研究の多様な研究成果の評価の在り方や成果発信

2. データ駆動型研究やデータ基盤の整備等に係る推進方策の検討

- データ基盤の開発や整備、基盤を支える人材育成の在り方
- 公的統計データも含めたデータの更なる研究利活用の推進、AI利活用を含むデータ駆動型研究の推進、データ利活用の普及・啓発

3. 研究成果の可視化および国際発信力の強化に係る方策の検討

【2】委員会での検討事項

1. 共創による課題設定型・プロジェクト型共同研究の推進方策

- 研究者のマッチング、研究マネジメントの仕組み、マネジメント人材の育成・確保、研究成果の把握・発信の在り方
- 人社主導による共創型共同研究の意義・重要性の整理
- 成果の多様性とその把握について

2. データ基盤の整備、管理運用の推進

- データ基盤を構築する機関等において今後求められる体制の在り方(特に人材の観点。)

3. 研究成果の多様性とその可視化、成果の国際発信について

- 研究モニタリング等の実施状況の報告と今後の方向性について
- 成果発信と必要な体制、国際発信に向けた推進方策について

【3】スケジュール

- 年度内は12月6日、22日、1月下旬、2月末頃の開催を予定。2月に論点整理を実施。
- 翌年度は3、4回ほど追加事項を議論し、令和7年1月以降にとりまとめを想定。